

# 平成29年度 荒尾市の決算

市の財政の決算状況をご報告します。

☎財政課財政係 ☎63-1289

## 一般会計 収支の状況

一般会計決算額は、歳入が206億7,801万8千円（対前年度比2.7%減）、歳出が200億8,500万（対前年度比2.7%減）で、差し引き5億9,301万8千円の黒字になりました。そのうち1億5,974万5千円は、平成30年度に繰り越して行う事業の費用として必要なため、実質的な収支では、4億3,327万3千円の黒字となりました。

また、積立基金（市の貯金）に3億8,430万2千円積み立て、1,437万5千円取り崩しました。その結果、平成29年度末の積立基金の合計は67億605万9千円になりました（出納整理期間を含む）。

## 歳入の決算状況

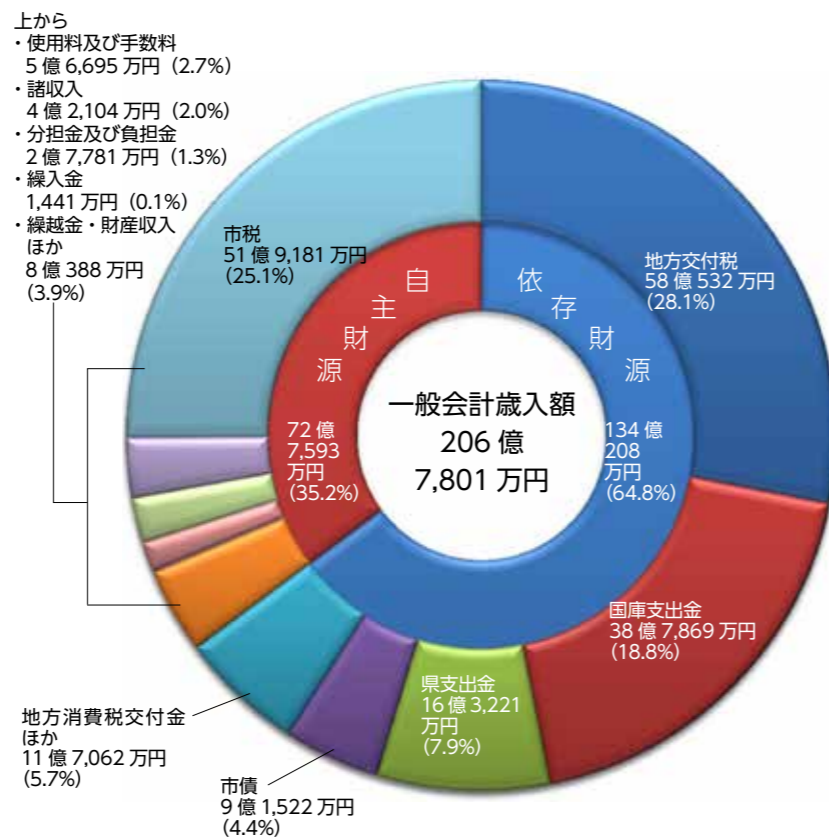
### 【歳入の決算状況】

歳入総額は、前年度と比べて5億6,946万7千円減少しています。

自主財源（市が自主的に収入できるお金）の合計は72億7,593万3千円で歳入の35.2%です。このうち市民税や固定資産税などの市税が51億9,181万9千円で歳入の25.1%を占めています。

一方、依存財源（国や県によって額が決められ、交付されたり割り当てられたりするお金）の合計は134億208万5千円で歳入の64.8%を占めています。このうち地方交付税が58億532万1千円で、歳入の28.1%です。

このように、本市の財政は自主財源よりも依存財源が占める割合が高いことから、地方交付税や国県補助金など、国や県の施策に大きな影響を受けます。そのため、行政活動の自主性と安定性に弱い面があるということも考慮した行政運営が必要になります。

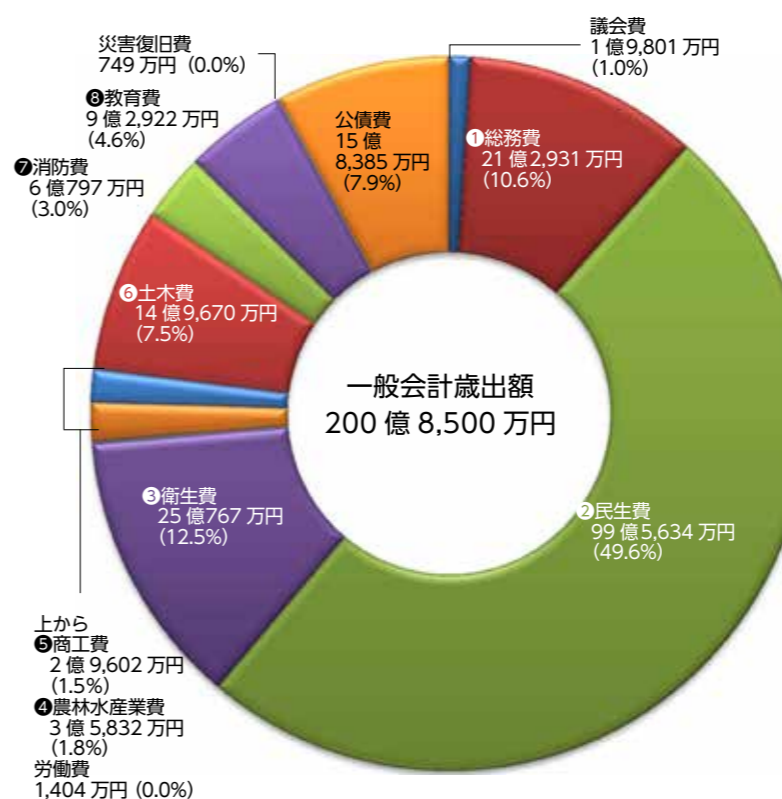


## 決算とは

4月～翌年3月を一区切りとして、市にどのくらいの収入があり、そのお金をどのように使ったのかをまとめた家計簿です。市では9月に開かれた市議会で詳しく審議された後、認定を受けました。

※グラフや表の金額は1万円未満を切り捨てて表記していますので、合計と合わない場合があります。また、割合は四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

## 歳出の決算状況



## 平成29年度は 主にこのような事業に使いました

歳出総額は、前年度と比べて5億6,524万7千円減少しています。

① 総務費	市役所での一般管理事務費	9億1,969万円
	基金への積立	3億326万円
	衆議院議員選など選挙の経費	4,026万円
② 民生費	国民健康保険特別会計への繰出金	6億4,475万円
	介護保険特別会計への繰出金	7億5,631万円
	障害者自立支援給付費	14億6,524万円
	子ども医療費や児童扶養手当の支給など子育て支援の経費	7億100万円
	保育園、認定子ども園の運営経費	18億7,778万円
	児童手当の支給経費	8億9,313万円
	生活保護の経費	15億8,335万円
③ 衛生費	母子保健の経費	4,524万円
	がん検診など健康増進の経費	4,259万円
	ごみの収集・処理費用	10億2,306万円
	市民病院への支出金	4億8,939万円
④ 農林水産業費	農道や水路の整備などの推進経費	8,346万円
	林業振興の経費	8,628万円
⑤ 商工費	商工振興費用	8,620万円
	観光事業の経費	8,554万円
⑥ 土木費	下水道事業への支出金	3億7,142万円
	市営住宅の建設、維持管理経費	2億8,242万円
⑦ 消防費	有明広域消防組合への負担金	5億1,085万円
	防災や災害対策の経費	842万円
⑧ 教育費	教育委員会事務局の一般管理費	2億6,939万円
	小・中学校の施設改修、新築・増改築などの費用	5,738万円
	運動公園などの体育施設の管理運営費	5,052万円
	学校給食の経費	2億652万円

## 平成29年度の実績 Pick Up



小学校給食費無償化事業費  
5,750万円



中学校教室用エアコン整備事業費  
1,188万円



市町村母子保健事業費  
4,525万円



階段昇降機  
小学校施設改修費  
4,790万円



特産品販売・観光交流拠点整備推進事業費  
880万円



荒尾市民病院建設推進費  
371万円



荒尾干潟水鳥・湿地センター関連事業費  
750万円



英語検定チャレンジ事業費  
81万円